

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎



明報感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 http://www.higurashi.net/ 第0062号  
護國青年會議機関紙 http://www.gokoku.net/ 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成20年8月16日

# 灼熱の靖国 64年目の夏 編集人/戸出蒼流

嘗て日本には、国家存亡の危機に尊い命を国に捧げて、蒼空の果てに飛び立って行った若者たちがいた。彼らは純粹に国家の繁栄と肉親の安寧を願って、その身を犠牲にしたのである。国民は畏敬と感謝の念をもって彼らを讃えたが、敗戦後は「無駄死に」という心ない評価をされるに至った。そして現在は「泣くな喚くな必ず帰る 白木の箱に錦着て」と、己が青春を祖国



防衛の礎として捧げた英霊に対して、何一つ報いることのできない恥すべき世の中と成り果ててしまった。

今わの際に若き英霊たちの脳裏を過つたものは何だったのだろうか。もう会えない愛する家族か、恋人か、或いは兎を追い、小鮒を釣った故郷の山河だったのだろうか。どんなに故郷が恋しかったろう、どんなに祖国に帰りたいか

ろうに…。日本を愛し、日本の平和と繁栄を願った若者たちは、出撃の朝、「花の都の靖国神社春の梢で咲いて会おう」と誓い合い、戻ることのない旅へと飛び立って行った。南の海で、深い密林で、異国の大地で益荒男の本懐を遂げ、英霊となつた若者たちは今、靖国の杜に眠る。

我々が現在、享受している平和と繁栄そして自由は、英霊の尊い犠牲が礎となつてい

皇紀二六六九年八月十五日、例年のように浮世の垢に塗れた心身を清め、皇居を遙拝し、水団を食すと出陣の時がきた。地下鉄を降り、九段坂に立つと、待っていたのは灼熱の太陽と蝉時雨だった。人の心はいざ知らず、照りつける太陽は六十四年前と聊かも変わることなく人々を叱咤激励している。

聖域へと向かう人の群れの中に、老夫婦もいれば若いカップルもいる。いかつい男性もいれば品の良い女性もいる。それぞれがそれぞれの思いを込めて英霊に会いに来ているのだ。そんな中、ひと際

目に付いたのは、父親の後ろを歩く男児の姿だった。手には日章旗を持ち、しつかりと一歩一歩踏みしめるように歩いている。聞けば千葉に住む小学校四年生で、病床に伏す祖父の代わりをやって来たという。この親子を見て、「日本人なら斯くあるべきだ」と痛感した。

「空をつくような大鳥居」を潜り抜けると大きな特設テントが目に入る。テントの中から聞き覚えのある声で、「首相は靖国を政争の具にしてはいけないと言ったが、私に言わせれば逃げただけの話だ」舌峰鋭く首相を批判しているのは、前航空幕僚長の田母神俊雄氏だった。気概のない政治



講演する田母神前航空幕僚長

家どもが参拝しようがしまいが歯牙にも掛けないが、内閣総理大臣たるものは、本日この聖域に詣でて英霊に額ずき、感謝と哀悼の誠を捧げるべき

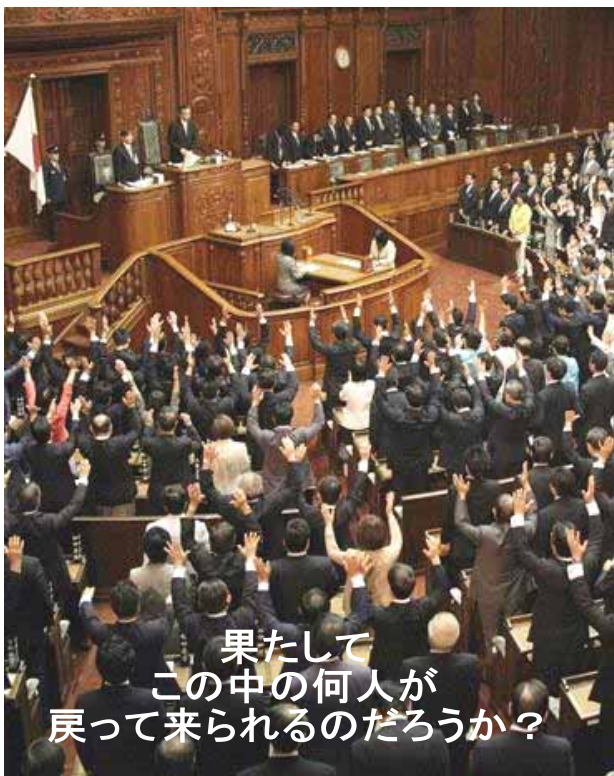
だ。田母神氏の言葉に頷きながら拜殿へと歩を進め、神道の作法に則り参拝した。拜殿横には井之上浄誓白皇社会長率いる護國青年會議の憂国の志士たちが集結し、静かにその時を待っていた。正午の時報とともに拜殿周辺を埋め尽くした人々は心底から黙禱を捧げた。静寂だけが辺りを支配する中、さまざまな思いが胸に去来した。



黙禱する憂国の志士たち

静かなる歳月を数えて蝉の声日本がアジア諸国を白人の魔手から守るため戦い抜いたあの戦争は断じて侵略戦争ではなく間違いではなかった。しかし、敗戦を終戦と置き換えたその日から、日本の歴史は虚妄の上に時を刻み、現在多くの日本人が強い閉塞感を持って居る。それを打破し、日本を「まともな国」にする事が日本国民の責務であり、その日が来る事を切望する。

# お試し政権交代が招く民主長期政権の悪夢



果たしてこの中の何人が戻って来られるのだろうか？

ならば政権与党には旨味があり、それを自ら手放すような造反議員は当面、出てこないだろうし、執行部は対立するグループに相応なポストを与えて抑え込むことも可能となるからだ。

仮に一年間、民主党政権が続けば、朝日や毎日のような反日メディアを味方につけて来夏の参院選も勝利する恐れがある。醒めない悪夢の中を憲政史上初の売国政権が続くのだ。亡国の危機を目の当たりにして、我々は茫然と立ち尽くすだけとなってしまうのだろうか？否である。それには国民の一人一人が「友愛」

だの「絆」だの「国民の生活が第一」などという民主党の悪魔の囁きに耳を貸さず、鳩山が推し進めようとする売国政策を木っ端微塵に粉碎しなければならぬ。

鳩山民主の売国政策の代表格は「在日外国人参政権付与」だ。この問題について民主党

は、党のマニフェストには記載しない方針に転じたが、幹事長の岡田克也は「小沢一郎前代表も鳩山由紀夫代表も私も付与すべきだ」という意見だ。幹部の間では意思統一できている」と明言している。民主党の幹部が推進派なのは周知

の事実で今更驚くには値しないが、こうした発言を殆ど報道しないメディアの姿勢は問題だ。在日が絡むとメディアは途端に沈黙し、腫れものに触るような扱いをする。メディアが意図的に封殺することにより、国民が察知し難くなった危険な法案は陰で確実に進行しているのだ。

さらに憂鬱なことは、この法案の最大の推進役が創価公明党であることだ。元々蝙蝠政党と揶揄される公明党が、選挙の結果如何では民主党と結託することは充分考えられる訳にはいかない。編集人

「創価公明と売国民主が手を結べば、この悪しき法案は一気に衆参両院を通過して成立してしまう。我が日本の将来に禍根を残し、亡国に直結する問題を防ぐことは我々の至上命題である。極論すれば、年金や消費税などはこの次で、大切なのは日本国の将来である。その最たるものが、後に日本民族の主権を奪うことに繋がる在日参政権に他ならない。民主党が今まさに開放しようとする亡国の扉を黙って眺めている訳にはいかない。」

マニフェストにない民主党の主張「それでもハイと言えますか？」

支那や朝鮮からの「移民1000万人」を喜んで受け入れますか？ はい・いいえ

在日外国人に選挙権を与え、その傀儡を首長にしたいですか？ はい・いいえ

支那や朝鮮には過去に遡って謝罪し、永遠に賠償すべきだと思いませんか？ はい・いいえ

天皇陛下を退位させ、皇室を廃絶させるという主張に同意できますか？ はい・いいえ

「日本は日本人だけのものではない」という考えに同意することができそうですか？ はい・いいえ

前記5項目はマニフェストには記載されていない民主党もしくは民主党議員の主張です。小紙がお手元に届く頃には衆院選が公示されますが、このような売国思想を持った連中が政権を執れば、日本は早晩亡国への道を歩むこととなってしまつてしょう。

設問のどれか一つに「はい」と答えた方にお聞きします。「あなたは、日本が嫌いですか？」・・・と。

七月二十一日午後一時、衆院本会議場に万歳の声が響いた。日本人対反日日本人の戦いの火蓋が切つて落とされた瞬間だ。

報道各社の世論調査は押し並べて民主亡国政権の誕生を予測する。またメディアは自民か、民主かを問う政権交代だけをたつた一つの論点とした「ワニイシュー選挙」を画策し連日連夜、国民を反自民へと誘導している。メディアが取り上げているのは目先の経済問題だけで、そこには国家の基幹である国防もなければ外交もない。左翼思想に憑かれた議員から真性保守に近

い議員まで、左右にウイニングが広がる民主党が、国防問題や外交問題で党内のコンセンサスを得るのは至難の業であるところから、メディアは敢えてそれらに蓋をして、今日も「ワニイシュー選挙」を喧伝し続けている。

各種世論調査によれば、どうも自民党の劣勢は否めない。逆に民主党は単独過半数どころか300議席に手が届く勢いだ。このまま民主党が大勝すれば、これまで意見の集約ができなかった安全保障問題などは棚上げにして、党内が一枚岩となる可能性は否定できない。なぜ

祝祭日には国旗を掲揚しましょう!! 日刊びぐらし